

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		所沢市					
プ ラ ン の 名 称		所沢市市民医療センター改革プラン					
策 定 日		平成 21 年 10月 15日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ～ 平成 23 年度					
病院の現状	病 院 名	所沢市市民医療センター					
	所 在 地	埼玉県所沢市大字上安松1224番地の1					
	病 床 数	一般病床49床					
	診 療 科 目	内科・小児科・放射線科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>内科については、高齢化が急速に進む中、かかりつけ医療機関や病院、さらには地域包括支援センターなどとの地域連携・病診連携を整備確立し、安心かつ効率的な医療の提供に寄与することである。</p> <p>小児科については、都立清瀬小児病院の移転や小児科二次救急の崩壊などが生じていることから、民間病院では採算を取ることが困難な小児初期救急医療を充実させることである。</p> <p>また、予防医学の観点から人間ドックや各種健康診断等を通じて、市民誰もが健康で豊かな生活を送れるよう支援し、医療費抑制にも貢献できる健康管理部門を充実させることも役割と考える。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<p>「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に示されている繰出基準を基本とする。</p> <p>ただし、経営努力を前提に、公立病院として今後果たすべき役割を達成するために要する費用のうち、なおも客観的に採算をとることが困難であると考えられる経費については、繰出基準の外に一般会計において経費負担をしていただくものとする。</p>					
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	100.3	100.4	94.4	98.3	100.9	
	医業収支比率	74.8	72.9	71.6	73.1	75.4	
	職員給与費比率	72.7	72.7	71.1	71.8	70.1	決算状況調査ベース
	病床利用率	59.1	53	65.7	67.5	73.4	
上記目標数値設定の考え方		<p>(経常黒字化の目標年度:平成23年度)</p> <p>経常収支比率は、公立病院改革ガイドラインで求められる数値100%以上</p> <p>医業収支比率は、所沢市市民医療センターで実現可能な数値73%以上</p> <p>職員給与費比率は、所沢市市民医療センターで実現可能な数値72%以下</p> <p>病床利用率は、公立病院改革ガイドラインで求められる数値70%以上</p>					

				団体名 (病院名)	所沢市 (所沢市市民医療センター)			
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
入院患者数		10,601	9,475	11,741	12,065	13,166		
外来患者数		44,746	44,951	46,757	50,445	52,250		
人間ドック等受診者数		25,961	27,611	30,880	31,180	31,180		
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間的经营手法の導入           <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立病院として果たすべき役割を実現していくため、民営化・民間譲渡については、計画期間中は導入しない。</li> <li>・医事業務・給食業務など業務の一部委託化を実施済みで、今後も業務の委託化を検討していく。</li> </ul> </li> <li>事業規模・形態の見直し           <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立病院として果たすべき役割を実現していくには、市の考え方が最も反映しやすい現状の地方公営企業法一部適用(財務適用)とする。</li> <li>この前提として、職員はセンターの使命を自覚し良質な医療の提供とコスト意識を再認識し、更なる意識改革を図っていくことが必要である。</li> <li>ただし、経営に関する目標数値を達成できない場合は、再度、事業のあり方を抜本的に見直す必要があるか検討するものとする。</li> </ul> </li> <li>経費削減・抑制対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与体系の検討</li> <li>・人間ドック窓口業務等の委託化</li> </ul> </li> <li>収入増加・確保対策           <ul style="list-style-type: none"> <li>・未収金対策</li> <li>・各種料金設定の見直し</li> <li>・地域連携を進め、入院患者数を増やす。</li> <li>・健診部門と診療部門の連携強化を図り、外来患者数を増やす。</li> </ul> </li> <li>その他</li> </ul>						
	各年度の収支計画	別紙のとおり						
	その他の特記事項	病床利用率の状況	18年度	59.40%	19年度	59.10%	20年度	52.98%
		病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科診察室及び小児病室改修工事</li> <li>・許可病床49床のうち6床を平成23年度までに小児科病床とする。</li> </ul>					

団体名 (病院名)	所沢市 (所沢市市民医療センター)
--------------	----------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当センターが所在する西部第一(西)保健医療圏には、下記の公立・公的病院が開設されている ・防衛医科大学校病院(所沢市・800床、うち精神26床) ・西埼玉中央病院(所沢市・325床) ・国立リハビリテーションセンター病院(所沢市・200床) ・所沢市市民医療センター(所沢市・49床)	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	医療機関の機能分化・連携と医療機能の重点化の促進(課題への対応) ①医療機関の機能分化を進め、地域における医療連携体制の構築 ②かかりつけ医を支援する地域の中核的な医療機関を育成し、地域完結型の医療提供体制の整備 ③かかりつけ薬局の定着促進と薬局の処方箋応需体制の整備を図るとともに、地域の医療機関との連携の促進 ④医師や特定診療科の偏在の改善 (埼玉県地域保険医療計画より)	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 小児初期救急体制及び内科での地域連携・病診連携を平成23年度までに確立する。	<内容> 市単独ではできないため、県の指導及び埼玉県保健医療計画等の考え方の下、医療機能の連携と役割分担を推進する。その一環として、所沢市医師会・所沢市薬剤師会・防衛医科大学校病院などと連携して小児初期救急医療体制を確立する。 また、内科でもかかりつけ医療機関や病院、地域包括支援センターなどの地域連携・病診連携を整備確立し、地域完結型の医療提供体制をすすめる。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 民間譲渡	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	・市内部の評価組織により内部評価と計画の進行管理を行う。 ・市民医療センター運営委員会の審議において、取り組み状況の評価、公表を行う。	
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年9月末までに公表	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	所沢市 (所沢市市民医療センター)
--------------	----------------------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	1,117	1,162	1,145	1,216	1,295	1,339
	(1) 料 金 収 入	1,117	1,162	1,145	1,216	1,295	1,339
	(2) そ の 他						
	うち 他 会 計 負 担 金						
	2. 医 業 外 収 益	410	413	447	407	464	473
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金	405	406	440	400	457	466
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	1	1	1	1	1	1
	(3) そ の 他	4	6	6	6	6	6
	経 常 収 益 (A)	1,527	1,575	1,592	1,623	1,759	1,812
	入	1. 医 業 費 用 b	1,530	1,554	1,570	1,699	1,771
(1) 職 員 給 与 費 c		849	845	832	865	930	938
(2) 材 料 費		163	155	146	158	168	174
(3) 経 費		240	271	282	308	321	320
(4) 減 価 償 却 費		55	60	62	67	60	60
(5) そ の 他		223	223	248	301	292	285
2. 医 業 外 費 用		16	16	16	20	19	19
(1) 支 払 利 息		1	1	1	0	0	0
(2) そ の 他		15	15	15	20	19	19
経 常 費 用 (B)		1,546	1,570	1,586	1,719	1,790	1,796
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 19	5	6	△ 96	△ 31	16	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)				0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	1	0	0	0	1	1
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 1	0	0	0	△ 1	△ 1
純 損 益 (C)+(F)	△ 20	5	6	△ 96	△ 32	15	
累 積 欠 損 金 (G)							
不良債務	流 動 資 産 (ア)	531	561	558	477	414	399
	流 動 負 債 (イ)	72	91	92	87	104	94
	うち 一 時 借 入 金						
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)						
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)						
差引 不 良 債 務 (オ)	△ 459	△ 470	△ 466	△ 390	△ 310	△ 305	
[(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]							
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)		40	△ 11	4	76	80	5
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		98.8	100.3	100.4	94.4	98.3	100.9
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		△ 41.1	△ 40.4	△ 40.7	△ 32.1	△ 23.9	△ 22.8
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		73.0	74.8	72.9	71.6	73.1	75.4
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		76.0	72.7	72.7	71.1	71.8	70.1
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)		△ 459	△ 470	△ 466	△ 390	△ 310	△ 305
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$		△ 41.1	△ 40.4	△ 40.7	△ 32.1	△ 23.9	△ 22.8
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率		△ 41.1	△ 40.4	△ 40.7	△ 32.1	△ 23.9	△ 22.8
病 床 利 用 率		59.4	59.1	53.0	65.7	67.5	73.4

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること  
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	所沢市 (所沢市市民医療センター)
--------------	----------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収 入	1. 企業債						
	2. 他会計出資金						
	3. 他会計負担金					50	
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. その他						
	収入計 (a)	0	0	0	0	50	0
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a)-(b)+(c) (A)	0	0	0	0	50	0	
支 出	1. 建設改良費	70	44	63	31	140	60
	2. 企業債償還金	12	13	13	13	13	13
	3. 他会計長期借入金返還金						
	4. その他						
	支出計 (B)	82	57	76	44	153	73
差引不足額 (B)-(A) (C)	82	57	76	44	103	73	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	67	43	73	38	96	70
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他	15	14	3	6	7	3
	計 (D)	82	57	76	44	103	73
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収益的収支	(203,463) 405,000	(241,363) 406,014	(288,623) 440,000	(211,769) 400,000	(211,769) 457,000	(211,769) 466,000
資本的収支	( )	( )	( )	( )	(25,000) 50,000	( )
合計	(203,463) 405,000	(241,363) 406,014	(288,623) 440,000	(211,769) 400,000	(236,769) 507,000	(211,769) 466,000

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。